

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年10月1日				
ディグ・スマイル・前橋東教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	ケガや事故がないように職員配置や活動スペースを区切る等の工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	スケジュールボード等、視覚的にわかりやすい工夫を行っています。玄関等の段差では、見守りや言葉がけを行い、けが防止に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		現在、車いすを利用されているお子様はおりませんが、玄関に段差があるため、車いすへの配慮が別途必要な状況です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	環境整備に努め、清掃と設備チェックは定期的に行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別の場所の要望があれば、相談室等を活用できます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	朝礼・終礼で業務改善のためのミーティングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者様からの要望や意見にできる限り応えられるよう、業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の朝礼等で取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	第三者評価は実施しておりませんが、内部監査を実施しています。	職員への周知が不十分な部分があるため、周知を徹底していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的な研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	5領域に即したプログラムを実施しており、カレンダー等で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	職員間で情報共有を行い、支援の方向性等見解の一致を図っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	支援計画の作成ごとに検討会で内容を周知したり、支援前に確認する機会を設けたりしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	標準化されたツールと日々の行動観察の両方を職員間で共有しながら支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	個別支援計画内に記載しており、必要に応じて取り組んでいます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	担当が立案したものをチームで検討し、相互サポートの体制をとっており、全職員が広く携わる体制となっています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	同じプログラムであっても教材等を変え、お子様たちが関心をもって取り組めるよう工夫しています。	短期間で同じプログラムが複数回実施されていることがあります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	個別と集団の活動をそれぞれ確保しており、集団が苦手なお子様に対しては、空間共有等で孤立しないように努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	当日出勤の職員で話し合いをするほか、不在の職員へも共有を行うことで、チーム支援が行えるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	終礼時や翌朝礼時に取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	気になったこと等を詳細に記録し、内容を職員間で検討する機会を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	随時行い、活かせるよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	お子様の状況をよく理解したうえで参画しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	必要に応じて連携を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	必要に応じて連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	必要に応じて共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	必要に応じて共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8	1	機会があれば積極的に参加していきます。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	地域の児童館や公園等を利用しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	送迎時や保護者面談等でお子様の様子について、話す機会を設けています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	定期的に保護者面談を実施しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に行っています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	7	取り組むよう努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	更新時に説明を行い、同意を得られています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	必要に応じて対応しており、定期的な面談予定も組んでいます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	納涼祭等、保護者の皆様に参加できるイベントを準備しております。	現在、父母の会等の開催はないが、要望に応じて検討していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	迅速に対応するよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	7	カレンダーやディグニュース（事業所からのおたより）の配布を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	定期的な注意喚起を行い、書類に関しては、鍵付きキャビネットでの保管を徹底しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	視覚的支援も取り入れながら、お子様の個々の特性に合わせた伝え方に配慮して行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	納涼祭等、保護者の皆様に参加できるイベントを開催しており、また、いつでも見学受け入れの準備があります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルの周知を行い、災害・不審者等の分類ごとにわかりやすい訓練を定期的に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	定期的な見直しを行い、全職員へ周知を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時や通院時等に情報共有いただき、職員間でも共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	事前に調査を行い、アレルギーについては細心の注意を払っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を事務所内に掲示し、いつでも確認できるようにしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	閲覧ファイルに保管されています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	0	0	回覧を行い、再発防止や未然に防ぐための検討機会を設けています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	0	0	定期的な研修の機会があり、職員間での話し合いの機会も設けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	0	適宜、情報共有を行い、対策の検討を行っています。	